



SM との統合

ここでは、Subscriber Manager (SM) での DHCP Lease Query LEG のインストール、アンインストール、およびアップグレード手順について説明します。



(注)

ネットワーク上で SM サーバを使用している場合には、この章を参照してください。SCE デバイスではなく SM サーバ上に DHCP Lease Query LEG をインストールする必要があります。

DHCP Lease Query LEG のインストール、アンインストール、およびアップグレード方法

- SM 上での DHCP Lease Query LEG のインストール (p.2-2)
- SM サーバからの DHCP Lease Query LEG のアンインストール (p.2-3)
- DHCP Lease Query LEG のアップグレード (p.2-4)

SM 上での DHCP Lease Query LEG のインストール

ステップ 1 DHCP Forwarder アプリケーションをインストールします。

DHCP Forwarder アプリケーションは、LEG と DHCP サーバの間でブリッジとして動作します。「[DHCP Forwarder のインストール](#)」(p.A-2) を参照してください。

ステップ 2 DHCP Lease Query LEG の PQI ファイルをインストールします。

- SM Command-Line Utility (CLU; コマンドラインユーティリティ) ディレクトリ `~pcube/sm/server/bin` から `p3inst CLU` を実行します。

例 :

```
>p3inst --install -f leaseq.pqi
```



(注) PQI ファイルのインストール後に、SM が自動的に再起動されます。

ステップ 3 DHCP Lease Query LEG のコンフィギュレーション ファイルを編集します。

DHCP Lease Query LEG には、`~pcube/sm/server/root/config` に 2 つのコンフィギュレーション ファイルが含まれています。

- `leaseq.cfg` — LEG の全般的なアトリビュートを設定します。
- `dhcp_pkg.cfg` — ポリシー割り当てルールを設定します。

最初に使用する時点で、設定上の必要に応じてこれらのファイルを編集することを推奨します。

ステップ 4 SM のコンフィギュレーション ファイル `p3sm.cfg` を編集し、サブスクリバ イントロダクション モードを pull モードに設定します。

例 :

```
[SM General]
# The following parameter defines whether the SM introduces
# the subscribers to
# the SCEs immediately after the subscriber's
# login operation (push-mode) or when the SE requests
# subscriber information specifically (pull-mode).
# Optional values: [pull, push]. Default: push.
introduction_mode=pull
```

ステップ 5 p3sm CLU を使用して SM にコンフィギュレーション ファイルをロードします。

この CLU により、新しいコンフィギュレーションが SM にロードされ、アクティブになります。

例 :

```
>p3sm --load-config
```

ステップ 6 Veritas Cluster Server にリソースを追加します。

この作業は、SM クラスタ構成の場合にのみ行います。リソースを追加するには、「[DHCP Forwarder リソースの追加](#)」(p.A-4) を参照してください。

SM サーバからの DHCP Lease Query LEG のアンインストール

ステップ 1 SM CLU ディレクトリ `~pcube/sm/server/bin` から `p3inst` CLU を実行します。

例 :

```
>p3inst --uninstall -f leaseq.pqi
```



(注)

アンインストールプロセスの実行後、SM が自動的に再起動されます。

ステップ 2 DHCP Forwarder Veritas Cluster Agent をアンインストールします。

この作業は、SM クラスタ構成の場合にのみ行います。「[DHCP Forwarder リソースの削除](#)」(p.A-6) を参照してください。

ステップ 3 DHCP Forwarder アプリケーションをアンインストールします。「[DHCP Forwarder のアンインストール](#)」(p.A-3) を参照してください。

DHCP Lease Query LEG のアップグレード

DHCP Lease Query LEG は、SM アップグレード プロセスの一部としてアップグレードする必要があります。DHCP Lease Query LEG の以前のバージョンは SM 3.x バージョンと互換性がないからです。DHCP Lease Query LEG のアップグレードは、SM のアップグレード プロセスと同時に実行されます。

ステップ 1 DHCP Lease Query LEG のコンフィギュレーション ファイルをバックアップします。

元のコンフィギュレーション ファイルは、次のステップのアンインストール プロセスで削除されます。

ステップ 2 `p3inst CLU` を実行して DHCP Lease Query LEG をアンインストールします。

例：

```
>p3inst --uninstall -f lease-query-pqi
```



(注) アンインストール プロセスの実行後、SM が自動的に再起動されます。

ステップ 3 SM のアップグレードを実行します。

SM のアップグレード手順については、『*Cisco SCMS Subscriber Manager User Guide*』を参照してください。

ステップ 4 `p3inst CLU` を実行して、新しいバージョンの DHCP Lease Query LEG をインストールします。

例：

```
>p3inst --install -f lease-query-pqi
```

ステップ 5 DHCP Lease Query LEG のコンフィギュレーション ファイルを復元します。

ステップ 6 `p3sm CLU` を使用して SM に新しいコンフィギュレーションをロードします。

例：

```
>p3sm --load-config
```
